

予算特別委員会記録（第3号）

令和2年3月17日 火曜日 午前10時00分開議

梅津善之 委員長 竹田陽一 副委員長

出席委員（15名）

1番	鈴木一則	委員	2番	勝見英一朗	委員
3番	渡部正之	委員	4番	鈴木裕	委員
5番	竹田陽一	委員	6番	金子豊美	委員
7番	浅野敏明	委員	8番	内谷邦彦	委員
9番	渡部秀樹	委員	10番	鈴木富美子	委員
11番	赤間泰広	委員	12番	梅津善之	委員
13番	小関秀一	委員	14番	今泉春江	委員
15番	蒲生光男	委員			

欠席委員（0名）

説明のため出席した者

内谷重治	市長	遠藤健司	副市長
齋藤環樹	統括監	竹田利弘	総務参事 兼地方創生参事兼総合政策課長
小関浩幸	厚生参事	中田浩之	会計管理者兼税務課長兼会計課長
近藤智規	総務課長	鈴木嗣郎	財政課長
渡部和裕	公共施設整備課長	新野弘明	地域づくり推進課長
金子剛	市民課長	小林克人	健康課長
梅津義徳	福祉あんしん課長	加藤潤子	子育て推進課長
土屋正人	教育長	藁谷尊	産業戦略監 兼産業参事兼産業活力推進課長
青木邦博	建設参事兼公共事業推進調整参事	桐生芳弘	教育参事
沼澤孝典	農林課長併農業委員会事務局長	赤間茂樹	商工観光課長
佐原勝博	建設課長	蒲生浩美	上下水道課長
井上浩	教育総務課長	竹田洋	学校教育課長
佐々木勝彦	文化生涯学習課長	金田文明	生涯スポーツ課長
菅秀一	学校給食共同調理場長	梅津浩一	選挙管理委員会事務局長 併監査委員事務局長

五十嵐 和 彦 消 防 主 幹

事務局職員出席者

松 木 満	議 会 事 務 局 長	山 口 和 則	議 事 主 幹 兼 議 会 事 務 局 補 佐 兼 庶 務 係 長
飯 澤 光 梨	議 事 調 査 係 長	安 達 洋 司	技 士 長

本日の会議に付した事件

- 議案第 1号 令和2年度長井市一般会計予算
- 議案第 2号 令和2年度長井市国民健康保険特別会計予算
- 議案第 3号 令和2年度長井市山形鉄道運営助成事業特別会計予算
- 議案第 4号 令和2年度長井市訪問看護事業特別会計予算
- 議案第 5号 令和2年度長井市介護保険特別会計予算
- 議案第 6号 令和2年度長井市後期高齢者医療特別会計予算
- 議案第 7号 令和2年度長井市宅地開発事業特別会計予算
- 議案第 8号 令和2年度長井市水道事業会計予算
- 議案第 9号 令和2年度長井市下水道事業会計予算

開 議

○梅津善之委員長 おはようございます。

これから13日に引き続き、予算特別委員会を開きます。

本日の会議に欠席の通告委員はございません。よって、ただいまの出席委員は定足数に達しております。

令和2年度長井市各会計予算案に関する総括質疑

○梅津善之委員長 それでは、13日に引き続き、予算総括質疑を続行いたします。

ご指名いたします。

内谷邦彦委員の総括質疑

○梅津善之委員長 順位5番、議席番号8番、内谷邦彦委員。

○8番 内谷邦彦委員 おはようございます。政新長井の内谷邦彦です。早速質問に入らせていただきたいと思えます。

2款総務費、1項総務管理費、201公共施設等整備事業、003新庁舎整備事業予算額40億5,100万8,000円に関して伺います。

最初に、入退出システム工事費について、副市長に内容を伺います。

いただいた資料によると、開庁時間以外の職員の庁舎入退出や開放時間が異なる一般開放エリアと庁舎執務区域エリアを電気錠つき扉を使

い施錠するシステムを検討しており、その初期費用とありますが、平日における職員の出退勤管理には使われないのかを伺います。

○梅津善之委員長 遠藤健司副市長。

○遠藤健司副市長 お答え申し上げます。

委員ただいまご指摘のとおり、入退出システムですが、建物南側の市役所機能が執務エリアになります。一方、北側のまちなか交流施設、1階には市民交流ホール、2階には市民防災研修室、3階には議場、そして議場閉会の際は市民のイベント広場というふうに想定しております。

やっぱり開放時間がそれぞれ違います。閉庁している時間帯、平日は17時15分からですね、また土曜、日曜、祝日の執務エリアへの職員以外の出入りを制限する必要があります。扉を電子制御にしたというのは、今、ご指摘のとおりです。

職員が入退出する際は、ほかの自治体で採用しているのがICカードの利用、あるいは先進のところではやっぱりマイナンバーカードを使っているところもございます。長井市もそのいずれかというふうには想定しております。

一方、出勤、退勤の際にICカード、あるいはマイナンバーカードなどでカードリーダー認証機械にかざして読み取らせて、職員の出退勤時間、あるいは退勤時間のデータを記録して出退勤も管理することは可能ではあるというふうに考えて検討は今しておりますが、加えて出退勤の管理のほかに時間外やら、あと年次休暇、また振りかえ、代休などのシステムとの連携が可能かどうかを検討しているんですが、そこまで含めると、割とシステム自体が高額になるというような今把握をしているところです。これからそこまで踏みこむか、総合的な出退勤管理システムについては検討する必要があるのかなというふうに考えているところです。

○梅津善之委員長 8番、内谷邦彦委員。